

# AMEDAS 解析雨量分布図ソフトウェア

～ 取扱説明書 ～

第 2.0 版



有限会社 インサイト

## 目 次

1.	概要 .....	1
2.	操作手順 .....	2
1)	プログラム起動 .....	2
2)	地図画像ファイルの読み込み .....	3
3)	抽出変換CSVファイルの読み込み .....	4
4)	画像操作(拡大,縮小)の説明 .....	6
5)	アメダスCSVファイル情報の説明 .....	6
6)	地図画像ファイルのスケール設定 .....	7
7)	地図画像ファイルのスケール設定の読み込み .....	9
8)	地図画像ファイルのスケール設定の保存 .....	9
9)	雨量色設定 .....	10
10)	プログラムの終了 .....	10

## 更新履歴

日付	版番号	内 容	備考
2010. 02. 28	1. 0	初版作成	
2017. 07. 20	2. 0	Windows 10 対応 フォルダ単位読み込み機能追加	

## 1. 概要

本プログラムは、圧縮バイナリ・データ(RAP 形式,GRIB:GPV 形式ファイル)を使用してインサイト製品の抽出変換ソフトウェアを使用して出力された結果 CSV ファイルを読み込んで、解析データの分布図を可視化するソフトウェアです。

本ソフトを使用して、ユーザが作成した地図画像ファイルに解析雨量の分布図を作成することができます。

処理の流れ(入力条件)は、以下の通りである。

### 【抽出変換操作の流れ】

- ① プログラム起動
- ② ライセンス登録情報
  - ・ シリアル・キーの入力 → ③へ
  - ・ 「お試し実行」 → ③へ
- ③ メインメニュー
- ④ 地図画像の読み込み
- ⑤ 抽出変換 CSV ファイルの読み込み
- ⑥ プログラム終了

### 【動作環境】

OS: Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 ( 32bit & 64bit 対応 )

実行環境: **Microsoft Framework 4.0 がインストールされている必要があります。**

※ お送りしたCDの[Microsoft Framework 4.0]をドライブにセットするとインストールされます。

マイクロソフトの Web から無料でダウンロードすることができる。

その他:

- ・ マニュアル参照のため、Adobe(R) Reader(TM) バージョン 5.0 以降が必要です。
- ・ 正規版をご利用いただくには、ライセンスキーによる認証が必要です。
- ・ 利用するテキストファイルは、Windows 標準(CR+LF)の改行コードで記載されている必要があります。
- ・ 本ソフトでは、「AMEDAS DATA 抽出変換ソフトウェア」の出力ファイルのみ取り扱えます。

## 2. 操作手順

### 1) プログラム起動

1. デスクトップ上の「AMEDAS 解析雨量可視化ソフトウェア」をダブルクリックする。



2. ライセンス登録画面が表示された後、メインの画面が表示される。

ライセンス・キーを登録した場合は、以下の画面は表示されなくなります。

#### 【ライセンス登録画面】

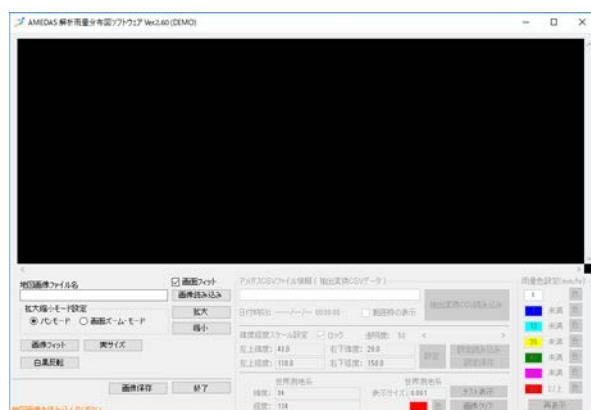
登録情報

登録情報  
ID(に対するシリアルキーを入力してください。  
ID:  
71793 - 04047 - 71979 - 71034 - 44134  
シリアル・キー:  
[ ] - [ ] - [ ] - [ ] - [ ]  
OK  
お問い合わせ インサイト  
Mail: [info3@insight-inc.co.jp](mailto:info3@insight-inc.co.jp)  
お試し版  
お試し実行

発行されたシリアル・キーを枠の中に入力して[OK]ボタンを押してください。

起動する度にライセンス登録画面が表示される場合は、シリアル・キー確認の為、お問合せください。

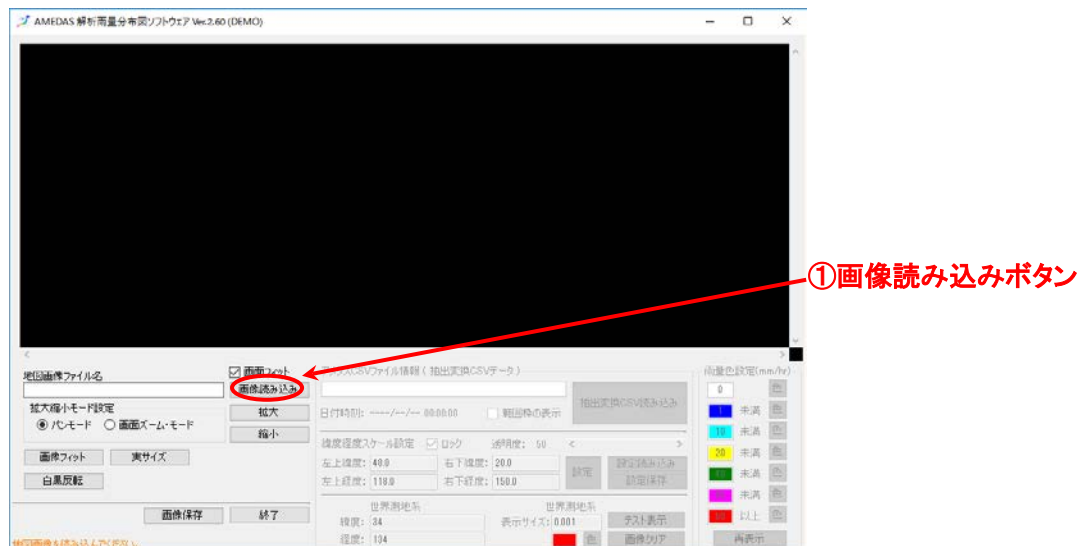
#### 【メイン画面】



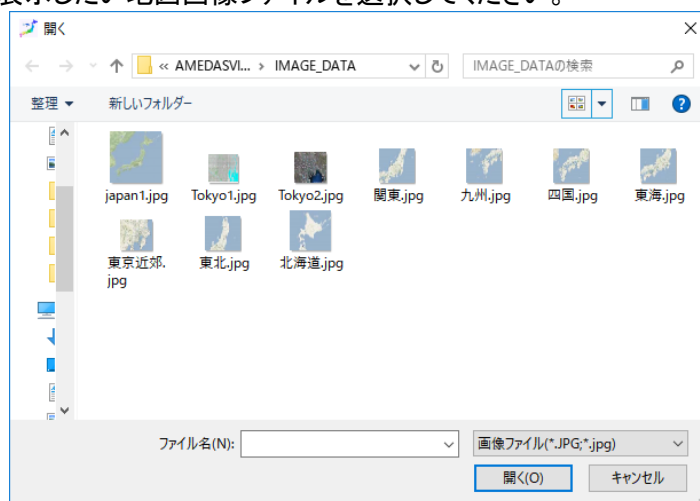
## 2) 地図画像ファイルの読み込み

アメダスの解析雨量を表示するための地図画像ファイルを読み込みます。  
読み込める地図画像ファイルの種類は、BMP,JPG,GIF,PNG に対応しています。

1. 「メイン」画面の **画像読み込み** ボタンを押す。



2. **①画像読み込み** ボタンを押すと、「ファイル選択」画面が表示されます。  
表示したい地図画像ファイルを選択してください。



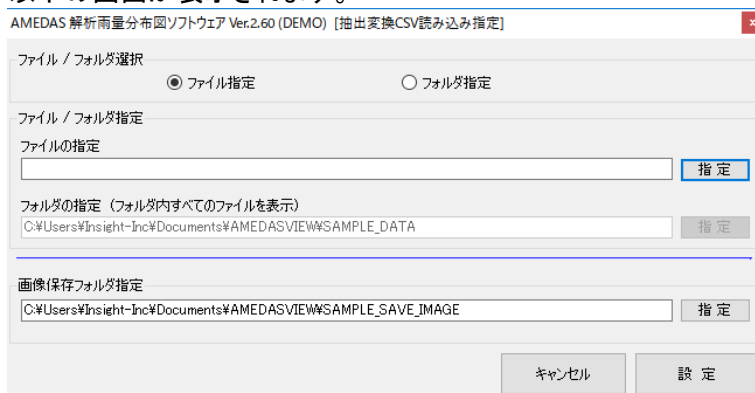
ファイルを選択したら、**開く** ボタンを押してください。

画像データは、マイドキュメント内「AMEDASVIEW」ディレクトリ内の「IMAGE\_DATA」内にあります。  
新たな地図画像ファイルを作成追加したい場合は、「IMAGE\_DATA」内に保存してください。

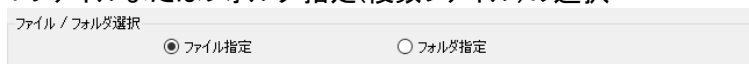
### 3) 抽出変換CSVファイルの読み込み

「AMEDAS DATA 抽出変換ソフトウェア」の出力した CSV ファイルを読み込みます。

1. 「メインメ」画面の抽出変換 CSV 読み込みボタンを押してください。  
以下の画面が表示されます。

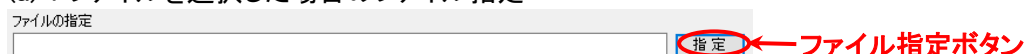


2. 1 ファイルまたはフォルダ指定(複数ファイル)の選択




マウスでどちらかを選択してください。

- (a) 1 ファイルを選択した場合のファイル指定



- (b) フォルダ指定(複数ファイル)を選択した場合のフォルダ指定



フォルダ指定(複数ファイル)を選択した場合のみ、画面に中止ボタンが表示されます。



中止ボタンを押しますと中止開始しまして中止ボタンが表示されなくなります。

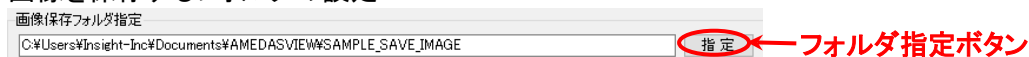
中止が完了すると画面に以下のメッセージが表示されます。



「AMEDAS DATA 抽出変換ソフトウェア」の出力した CSV ファイルは、すべて読み込めるようになっております。

**注意:** 本ソフトウェアで抽出変換したファイル(CSV)以外では正しく表示されません。  
(同じ書式で出力されたファイル(CSV)は正しく表示されます。)

3. 画像を保存するフォルダの設定



デフォルトは、マイドキュメント内「AMEDASVIEW」ディレクトリ内の「SAMPLE\_SAVE\_IMAGE」

4. 表示日付および線画サイズ、雨量表示の新規上書きの設定  
マトリックス CSV ファイルでは、以下の画面は表示されません。  
時系列 CSV ファイルを読み込んだ時に表示されます。

AMEDAS 解析雨量分布図ソフトウェア Ver.2.60 (CPU) [作画設定]

表示日付時刻 : 選択した CSV ファイル内の日付時刻を指定してください。

線画サイズ : 1つの緯度経度に対するデータ表示部分の枠サイズを指定します。  
表示した際、見えないなどの場合は、サイズを大きくすると見やすくなります。

雨量表示の設定:

[新規作成]: 画面をクリアにして新規に作成します。

[上書き] : 前回作画したデータ表示を削除せず残して上書きします。

[設定]ボタン : 変更内容を反映します。

[キャンセル] : 変更内容は反映されません。

読み込みが完了すると、以下の画面が表示されます。



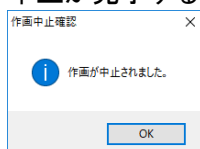
「表示しました。」メッセージが表示されますので、**OK** ボタンを押してください。

フォルダ指定(複数ファイル)を選択した場合のみ、**中止** ボタンが表示されます。



**中止** ボタンを押しますと中止開始しまして **中止** ボタンが表示されなくなります。

中止が完了すると画面に以下のメッセージが表示されます。





## 4) 画像操作(拡大,縮小)の説明

地図画像ファイル名  ☒ 画面フィット

拡大縮小モード設定  
☒ パンモード ☐ 画面ズーム・モード

画像読み込み

拡大

縮小

画像フィット 実サイズ

白黒反転

画像保存 終了

**画面フィット** ボタン: 現在の画面サイズに合うように表示します。

**拡大** ボタン: 表示されている画像を拡大します。

**縮小** ボタン: 表示されている画像を拡大します。

**画面ズームモード** ボタン: マウスで拡大したい範囲を指定して拡大させます。

**画像フィット** ボタン: 画像の比率を維持して画面にフィットするように表示します。

**実サイズ** ボタン: 実際の画像サイズをそのままに表示します。

**白黒反転** ボタン: 画像の白黒を反転させて表示します。

**画像保存** ボタン: 現在、表示されている画像をファイル(BMP 形式)に保存します。

**終了** ボタン: 「緯度/経度 範囲指定」に入力された情報が参照反映されます。

## 5) アメダスCSVファイル情報の説明

アメダスCSVファイル情報(抽出変換CSVデータ)

抽出変換CSV読み込み

日付時刻: 2008/09/20 00:00:00 ☐ 範囲枠の表示

**抽出変換CSV読み込み** ボタン: 「AMEDAS DATA 抽出変換ソフトウェア」の出力ファイルされた CSV ファイルの読み込みを行います。

正しく読み込まれた場合は、読み込んだファイル名、日付時刻を表示します。

☐ 範囲枠の表示: 読み込んだ CSV ファイルの抽出緯度経度範囲を枠で表示させます。

## 6) 地図画像ファイルのスケール設定

新規に、地図画像ファイルを登録する際に、**設定**ボタンを押して地図画像ファイルに対するスケール値の設定を行います。(□**ロック**の☑を外してください。)

□ **ロック**: 地図画像ファイルのスケール情報が変更されないようにロックします。

透明度: 地図画像の上に解析雨量を線画する際の指定された透明度に従って線画します。(0～100)

直接、地図画像ファイルの左上、左下の緯度経度が分かっている場合は、直接入力してください。

左上緯度: 地図画像ファイルの左上の緯度を指定します。

左上経度: 地図画像ファイルの左上の経度を指定します。

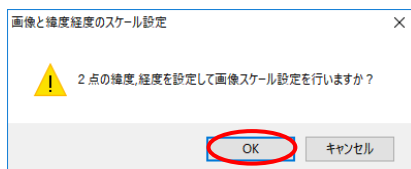
右下緯度: 地図画像ファイルの右下の緯度を指定します。

右下経度: 地図画像ファイルの右下の経度を指定します。

地図画像ファイルの左上、左下の緯度経度が分からない場合は、**設定**ボタンを押して、指示に従って緯度経度を入力してください。

表示されている地図画像ファイルの画面に、2点をマウスで指定して、2点に対する緯度経度を入力することによって、地図画像ファイルの左上、左下の緯度経度を自動計算します。

① **設定**ボタンを押してください。

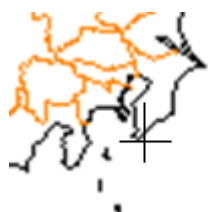


**OK**ボタン: 画像スケール設定を開始します。

**キャンセル**ボタン: 画像スケール設定を中止します。

② 1 点目の座標を指定

**OK**ボタンを押した場合、マウスで地図上に1点目の座標を指定してください。

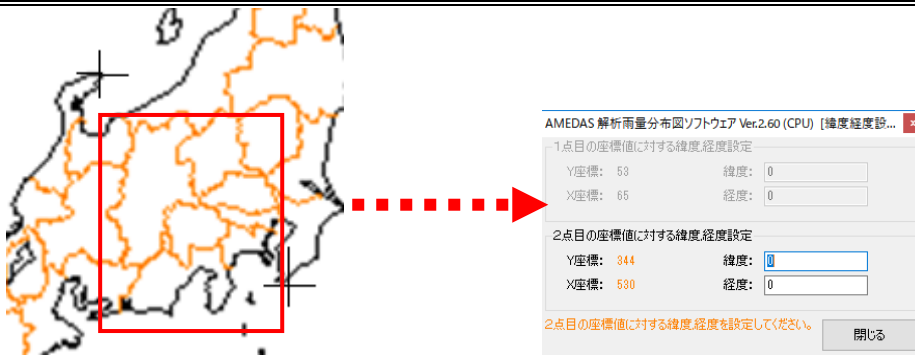


マウスで指定した座標に対する緯度、経度を入力してください。

③ 2 点目の座標を指定

マウスで地図上に2点目の座標を指定してください。

1点目と四角形になるように指定してください。



マウスで指定した座標に対する緯度、経度を入力してください。

指定する2点は、できるだけ大きな四角形になるように指定してください。

画面表示を拡大、縮小する際は、**拡大**ボタン、**縮小**ボタンを使って拡大縮小できます。  
画面の移動は、縦横のスライドバーを使用して画面移動ができます。

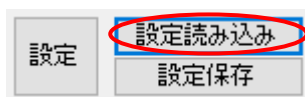
一度、**設定**ボタンを押すと、2点入力するまでキャンセルできませんので、もし、キャンセルしたい場合は、画面の**閉じる**ボタンを押して進めてください。

スケール設定値が、変わってしまった場合は、再度、**画像読み込み**ボタンを押すか、または、**設定読み込み**ボタンを押してスケール設定値を正しい設定値に戻してください。

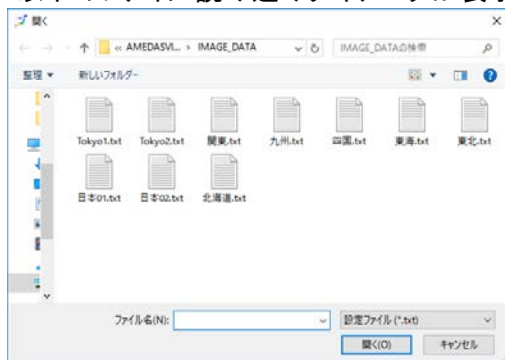
地図から緯度経度を取得するには、以下のホームページを使うと便利です。

[http://hp.vector.co.jp/authors/VA045718/maitizu/maitizu\\_search.html](http://hp.vector.co.jp/authors/VA045718/maitizu/maitizu_search.html)

- 7) 地図画像ファイルのスケール設定の読み込み  
設定したスケール設定値をファイルに保存します。



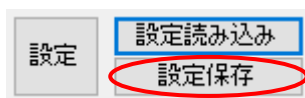
以下のファイル読み込みダイアログが表示されます。



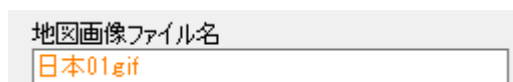
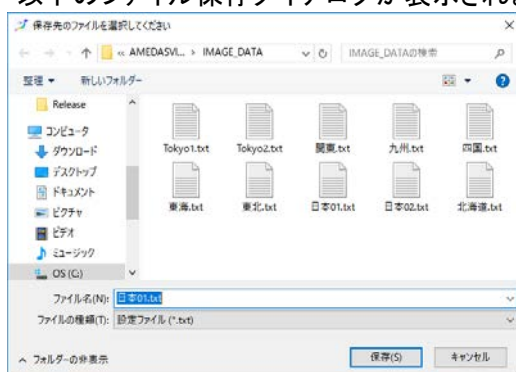
地図画像ファイル名と同じ名前を指定してください。

- 8) 地図画像ファイルのスケール設定の保存  
保存名については、地図画像ファイル名と同じ名前で保存してください。

地図画像ファイルを読み込む際、同じ名前にしておくことによって、自動でスケール設定ファイルが読み込まれます。



以下のファイル保存ダイアログが表示されます。



地図画像ファイル名と同じ名前で保存してください。

## 9) 雨量色設定

## (e) 雨量値に対する表示色の変更

以下の変更したい色ボタンを押して色の変更ができます。



変更した結果を表示したい場合は、**設定/再表示**ボタンを押してください。

(f) メニュー画面に戻る場合は、**閉じる**ボタンを押してください。

## 10) プログラムの終了

1. 「メイン」画面の**終了**ボタンを押してください。